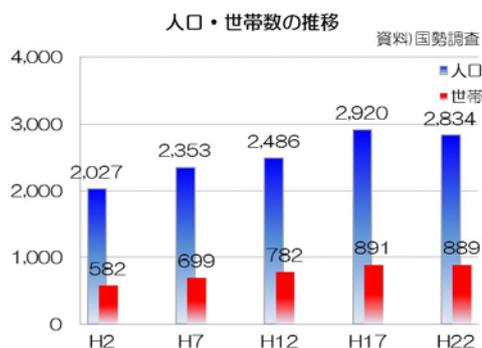


8 梶山地域

梶山地域は、入善地域に隣接し、近年、住宅・商業施設の立地が進行しています。また、国道8号及び小杉梶山新線の交差点付近に商業施設が集積しているなど、市街化が進行している地域です。

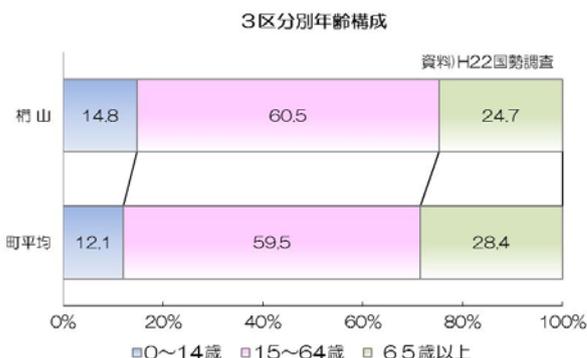
人口・世帯数の動向

平成22年現在の人口は2,834人、世帯数は889世帯で、人口、世帯数ともに増加傾向から平成22年に減少へと転じています。



少子・高齢化の傾向

本地域の年少人口(0～14歳)は、町平均を上回っています。また、老年人口(65歳以上)は、町平均を下回っています。



土地利用現況

入善地域との隣接部には、一団の住宅地が形成されているほか、(主)入善朝日線等の道路に沿って住宅等が立地しています。

広域幹線道路である国道8号沿道や国道8号と(一)小杉梶山新線の交差点付近には、商業・業務施設が集積しています。

(一)北羽入入善線と(一)小杉梶山新線の交差点付近には、梶山公民館、梶山保育所などの公共施設が集積しています。

商業・業務施設が集積する一帯の東側には、桃李小学校が立地しています。

JR北陸本線の沿線には、入善町の生活文化を体験・伝承しながら交流できる梶山いろり館が立地しています。

地域全域にわたり、黒部川扇状地の肥沃な土壌を活かした優良農地が広範囲に分布しています。

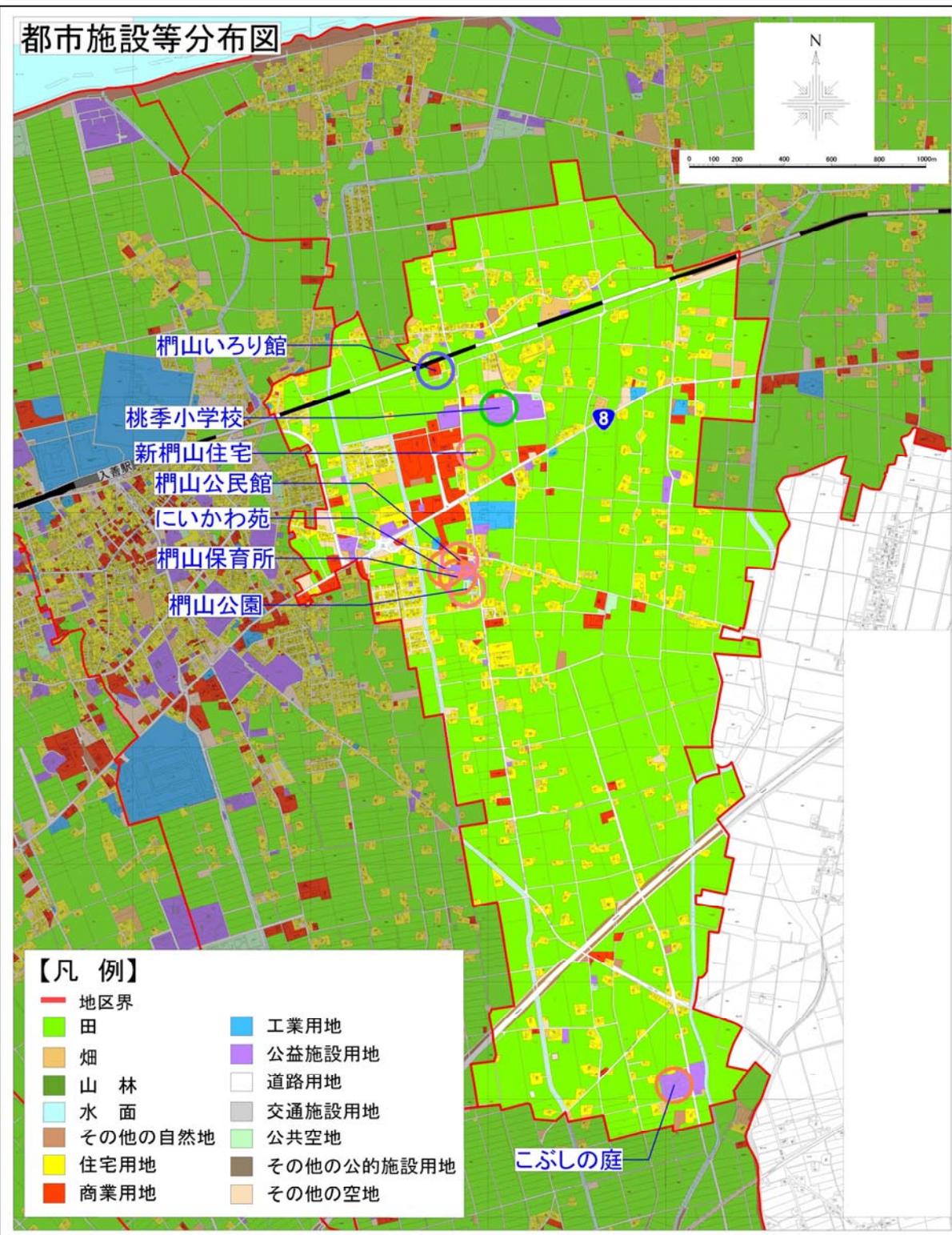
都市基盤整備状況

国道8号が東西方向の主要な幹線道路として重要な役割を担っています。

(一)小杉梶山新線等が地域を南北に縦断していますが、幹線道路である国道8号など、東西方向の道路とのアクセス性や安全・快適な交通環境が十分に確保されていません。

(一)北羽入入善線と(一)小杉梶山新線の交差点付近に、梶山公園が整備されているほか、小規模な公園等が整備されていますが、公園としての機能が十分に確保されていません。

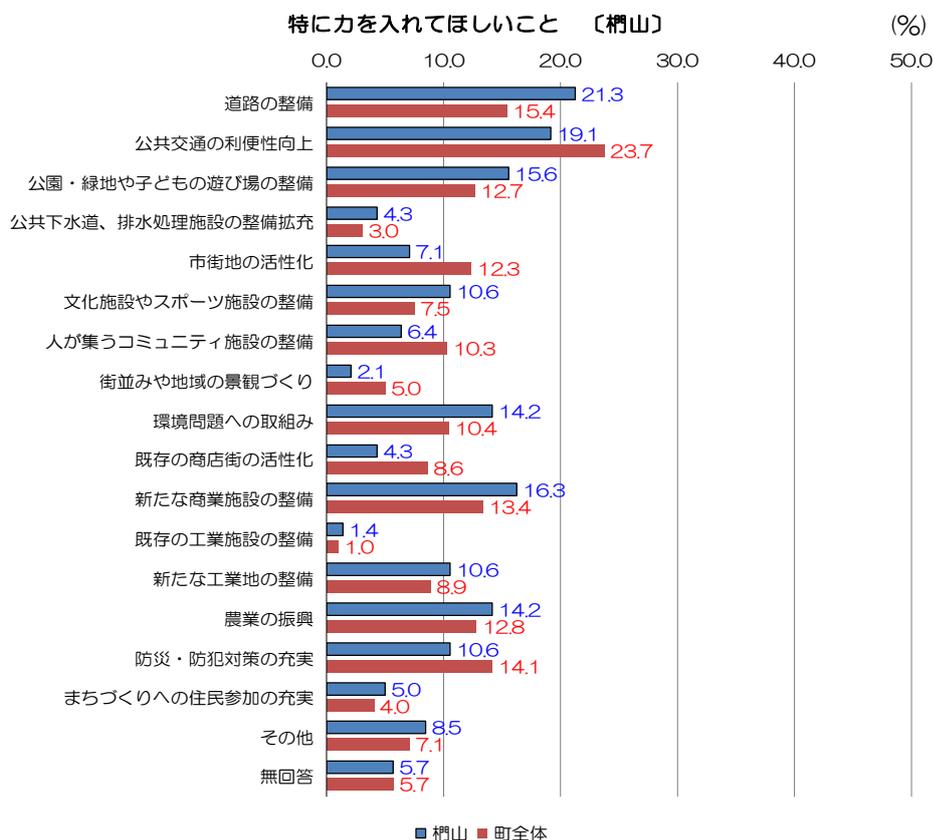
主な都市施設分布状況	
行政・コミュニティ施設	梶山公園、新梶山住宅
福祉施設	梶山保育所、こぶしの庭、にいかわ苑
教育施設	桃李小学校
スポーツ・文化施設	梶山いろり館
その他の施設	



■ アンケート調査結果、まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

●アンケート調査結果(地域において特に力を入れてほしいこと)

・本地域の住民が特に力を入れてほしいと感じていることは「道路の整備：21.3% (1位)」、
「公共交通の利便性向上：19.1% (2位)」、「新たな商業施設の整備：16.3% (3位)」であり、
アクセス機能の向上を求める要望が挙げられています。



●まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

(H18)横山梶山新線交差点の早期拡幅と消雪設備の設置を要望
(H18)企業立地と若者の雇用促進を要望
(H18)地域の人材を活用したまちづくりの推進を要望
(H19)防犯パトロール「青色回転灯」の増配備を要望
(H19) 農業用水路を活用した小水力発電の導入
(H19) ハード・ソフト両面にわたって将来的に安心できる老後対策事業の充実を要望
(H20.H22)学童保育施設の充実を要望
(H21)老人施設や保育所施設が不足している
(H21)通院や買い物、公共施設への訪問など地区内相互扶助組織が必要
(H21)梶山不動堂横の道路は、通学路となっており、道は狭いが車の量は増えてきており、朝夕方の通勤時間帯に危険を伴う
(H22)福祉施設の不足

■まちづくりの課題

（土地利用の課題）

入善地域との隣接部では、住宅地や商業地の開発圧力が高まっていることから、無秩序な開発を抑制するとともに、利便性の高い住環境の形成を図るため、適正な土地利用を誘導していく必要があります。

（都市基盤整備の課題）

地域内の各所から、東西方向の幹線道路である国道8号等へのアクセス性の向上を図るため、これらに接続する南北方向の道路機能を強化・充実する必要があります。

入善地域との隣接部では、市街化の進行及び人口の増加に伴い、交通量の増加も予測されることから、桃李小学校等の教育施設周辺や交通量が多い通学路周辺の安全性の向上を図る必要があります。

人口が増加していることに加え、公園に対する地域住民の要望が高いことを踏まえ、地域住民が利用する既存公園の機能充実にに向けた検討を行う必要があります。

■まちづくりの方針【梶山地域】

1. 将来目標

商業施設が集積した利便性の高い良好な住環境の形成

梶山地域は、市街地の拡大や人口の増加を踏まえた適正な土地利用を誘導しながら、交流と賑わいを創出する魅力的な商業施設の集積、生活の利便性が高い住環境の形成を図ります。

2. 土地利用の方針

(用途地域への編入及び計画的な土地利用誘導の検討)

- ・住宅地や商業地の開発圧力が高まっている入善地域との隣接部では、町民の利便性の向上と適正な建築指導を図るため、地域住民のコンセンサスを得ながら、用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導策の検討を進めます。



拡大する住宅地

(商業施設周辺の適正な土地利用誘導)

- ・商業施設が集積する一帯については、周辺の住宅地や良好な田園空間に配慮するため、地区計画等の導入検討など、適正な土地利用を誘導します。



商業施設の集積

(田園の保全と集落環境の維持・向上)

- ・優良農地の保全、また、田園と調和した集落環境の維持・向上を推進するため、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

(無秩序な開発を抑制した計画的な沿道利用)

- ・国道8号には、既に産業等の沿道利用施設が点在していますが、地域住民の利便性を確保する一方、農地保全の観点から、無秩序な開発を抑制するとともに、地区計画等の導入などにより、産業・沿道サービス施設の計画的な立地を推進していきます。

3. 都市施設整備の方針

(1) 道路整備の方針

(東西及び南北方向を連絡する幹線道路の維持・整備)

- ・国道8号は、沿道において今後も沿道サービス施設や企業立地の進展により、交通需要の変化が想定されることから、安全で快適な走行性が確保された道路機能の維持を図ります。
- ・地域を縦断する(一)小杉梶山新線は、地域間を連絡する主要な幹線道路であり、今後も、安全で快適な走行性が確保された道路の維持を図ります。



(一)小杉梶山新線

(地域住民の日常生活に密着した道路整備)

- ・ (一)北羽入入善線((都)東町線)などは、地域住民の日常生活に密着した道路であることから、道路機能の向上・充実に向けた整備促進を検討します。
- ・ 梶山地域の東西方向の主要な幹線道路である国道8号にアクセスする南北方向の道路機能の向上・充実に努めます。
- ・ JR北陸本線等で分断される集落を連絡する道路交通について、円滑な横断が可能となるよう、道路機能強化の方向性を検討します。

(交通事故防止対策の充実)

- ・ 入善地域との隣接部では、住宅地が拡大しており、人口増加に伴う交通量の増大から、交通事故の危険性が懸念されるため、桃李小学校等の教育施設周辺や交通量が多い箇所での交通安全対策の充実を図ります。

(2) 公共交通の方針

(町営バスの利便性向上)

- ・ 町営バスは、今後の利用動向を見極めながら、必要に応じ、柔軟に対応することで、地域住民にとってより利便性の高い運行を行います。

(3) 公園・緑地の方針

(既設公園の保全・活用)

- ・ 地域住民の憩いの場となっている既設の梶山公園は、今後も施設や遊具の適切な維持管理を推進します。
- ・ 新たな住宅地の開発に伴う街区公園が地域住民の交流の場となっており、それら街区公園を適正に維持管理していきます。

4. 環境共生型の都市づくりの方針

(優良農地の保全)

- ・ 市街地周辺に広がる優良農地は、都市機能が集積した市街地を取り巻く貴重な緑、地域を潤す生産基盤として保全します。

(緑豊かな都市環境の形成)

- ・ 既設公園の整備のほか、身近な公園や広場の充実により、緑豊かな都市環境の形成を図ります。



地域に広がる優良農地

5. 都市景観形成の方針

(中心市街地隣接部における適正な市街地景観の誘導)

- ・ 住宅地や商業地の開発圧力が高まっている入善地域との隣接部においては、用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導策の検討とあわせ、住宅地や商業地等の適正な市街地景観形成の誘導を図ります。

(大規模な建築物等の規制誘導)

- ・ 国道8号沿道に立地する大規模な商業や工業施設等は、周辺に圧迫感や違和感を与えないよう規制・誘導することを検討します。

(沿道における建築物や屋外広告物の規制誘導)

- ・ 国道8号沿道は、既に商業・工業施設が立地していますが、良好な沿道景観を形成するため、経済活動に影響を与えないよう配慮しつつ、建築物や屋外広告物の規制誘導を推進します。



国道8号の沿道サービス施設

6. 安全・安心な都市づくりの方針

(河川の水害対策と地域住民の意識向上)

- ・ 小川の洪水及び浸水災害等の防止対策を推進します。
- ・ 関係機関との連携強化による水害対策事業の推進や、入善町防災マップ、洪水ハザードマップ等の周知を徹底します。
- ・ 人口増加、新たな住宅地の拡大に伴い、希薄化する恐れのある地域コミュニティの醸成に努め、地域住民の災害に対する意識の向上を図ります。

(避難場所の拡充・機能強化と避難路の確保)

- ・ 梶山公園などの公園機能を充実するとともに、桃李小学校など、備蓄機能の確保等により、避難場所としての機能強化を図ります。
- ・ 災害時に地域住民が避難場所まで安全に避難できるよう、歩車道の分離、段差や狭あい道路の解消、避難経路における建築物・工作物の耐震強化などの適切な措置を推進します。



梶山公民館

桐山地域 まちづくり方針図



町民の憩いの場となる身近な公園

- 商業施設周辺の適正な土地利用誘導
- 用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導
- 適正な市街地景観の誘導

- 身近な公園・広場の充実
- 身近な公園・広場の充実による緑豊かな都市環境の形成

- 交通事故防止対策の充実



- 人口増加等に伴う地域コミュニティの醸成と防災意識啓発

- 優良農地の保全

- 洪水等の防災対策、入善町防災マップの周知

- 無秩序な開発の抑制、産業・沿道サービス施設の計画的な立地
- 広域的な連携・交流、産業交通の円滑化



景観に配慮されたゆとりある住宅地

凡例			
住環境形成地区	農業環境保全地区	主要幹線道路	行政界
住宅地区（市街地）	沿道利用誘導地区	幹線道路	用途地域（現況）
地域商業地区	業務立地誘導地区	バス路線	都市計画区域
沿道利用地区	広域幹線道路	地域界	